

上場への売上高目安 早わかりガイド



※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご利用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2025年11月時点の内容となっております。最新の情報は国の資料等をご確認ください。

上場への売上高目安 早わかりガイド

IPO（新規上場）における売上高の目安

IPO（新規上場）を目指す上で、売上高の規模は重要な検討事項です。

上場する市場（グロース、スタンダード、プライム）ごとに、求められる売上高の目安や審査のポイントは異なります。

市場ごとの目安

各市場の特性（成長性重視、安定性重視など）により、求められる水準が異なる。

審査のポイント

売上高だけでなく、利益水準、成長性、事業の継続性、ガバナンス体制なども総合的に評価される。

上場への売上高目安 早わかりガイド

市場別の売上高目安（グロース / スタンダード）

グロース市場は「成長性」、スタンダード市場は「安定性」が重視されます。

項目	グロース市場	スタンダード市場
特徴	- 成長性を最重視 - 先行投資による赤字許容	- 安定性を最重視 - 継続的な黒字体制を要求
形式要件 (利益)	明確な基準なし（赤字上場も可能）	黒字経営が前提（直近年度利益 1億円以上）
形式要件 (売上高)	明確な基準なし	明確な基準なし
売上高目安 (2022年実績)	数億円でも可能（実績：10億円未満～100億円超まで様々）	30億円前後が目安（実績：最低約30億円）
利益目安 (2022年実績)	営業利益2億円未満または赤字での上場が約6割	（形式要件の黒字が前提）

上場への売上高目安 早わかりガイド

市場別の売上高目安（プライム）

プライム市場は、最も厳格な基準が設けられており、持続可能な成長と高度なガバナンス体制を備えた大企業が対象となります。

カテゴリ	項目	基準 または 目安
市場の特徴	求められる要素	- 持続可能な成長と高度なガバナンス - 他市場からのステップアップが一般的
形式要件 (A or B)	(A) 利益基準	直近2年間の累計利益 25億円以上
	(B) 売上・時価総額基準	直近年度売上高 100億円以上 【かつ】 上場時予想時価総額 1,000億円以上
売上高の目安 (実績ベース)	実態的な目安	最低でも500億円以上、可能なら1,000億円規模が目安
	参考（2022年実績）	新規上場2社はいずれも売上高600億円超（※2022年4月～12月）

上場への売上高目安 早わかりガイド

売上高以外で重視されるIPO審査指標

IPO審査では、売上高も重要ですが、それだけで可否は決まりません。企業の信頼性や成長性を総合的に評価するため、以下の点も重視されます。

1. 営業利益・純利益などの収益性

スタンダード市場やプライム市場では、安定的な黒字経営が前提となります。

2. 成長性と事業の継続性

特にグロース市場では、現時点の業績よりも将来の成長可能性が強く評価されます。継続的な収益力を持つビジネスモデルも重要です。

3. ガバナンス体制と内部管理

企業の透明性や、法令遵守（コンプライアンス）の体制及びその実効性が審査されます。

4. 株主構成と流通株比率

市場で株式が円滑に売買されるための基準です。

5. 監査意見

監査法人から「適正」な監査意見を得ていることが必要です。